



## 保健福祉学部 看護学科 授業開放2018

看護学科では、病気の予防や健康回復を支援するために、人間の発達や健康に関する様々な授業や演習を行っています。本学科の授業や演習を通して、看護学の学問の重要性や学ぶことの意義や楽しさを知っていただくために、高校生を対象に学科教員による授業開放を開催します。

開催日：平成30年8月18日（土）10:00～14:30 ※受付は9:30より

場 所：岡山県立大学 保健福祉学部棟（午前・午後）

総社市窪木111（JR桃太郎線・服部駅より徒歩5分、無料駐車場有）

受講料：無料 ※平成30年7月1日（日）～31日（火）の事前申し込みが必要です。  
但し、締切日前であっても定員に達し次第、募集を締め切ります。

時間	申込番号	授業名	定員
10:00-10:10		開会／オリエンテーション（場所：保健福祉学部棟 3階 6316講義室）	
10:10-11:40 （授業）	1A	<p>高校生のための小児看護学入門：子どもの運動機能の発達</p> <p>（場所：保健福祉学部棟 3階 6316講義室） （講師：沖本克子教授 網野裕子助教）</p> <p>子どもは日々成長・発達しています。生まれたばかりの赤ちゃんが、1歳を過ぎると一人で歩くことができるようになります。その発達の過程について学び、子どもに対する理解を深め、小児看護について考えます。</p> <p>（※出前講義対応可）</p>	先着70名

時間	申込番号	授業名	定員
13:00-14:30 （演習）	2A	<p>高校生のための老年看護学演習：認知症をもつ高齢者とのかかわり</p> <p>（場所：保健福祉学部棟 4階 6413演習室） （講師：實金栄准教授 井上かおり助教）</p> <p>認知機能の低下は加齢により誰にでも生じる体の変化です。認知症をもつ高齢者は、新しいことを覚えられにくくなったり、複雑な情報を一度に処理したりすることが難しくなります。しかしすべてがわからなくなったり、できなくなったりするわけではありません。認知症をもつ高齢者が安心して生活するには、かかわり方に工夫が必要です。その工夫を一緒に考え、実践してみましょう。</p>	先着30名
13:00-14:30 （演習）	2B	<p>高校生のための基礎看護学演習：聴診器で聴いてみよう！身体（心臓）の音</p> <p>（場所：保健福祉学部棟 4階 6412演習室） （講師：佐々木新介准教授、佐藤美恵准教授、高林範子助教 他）</p> <p>看護師は対象となる方の体調を把握するために自らの視覚、触覚、聴覚等を使います。そして、必要に応じて様々な道具も使用し、そのひとつが聴診器です。本演習では、実際に聴診器などを使用し、身体（心臓）から聞こえる音（心音）を聴き、看護に対する理解と魅力を深めます。</p>	先着30名

○お申し込み方法

本学のホームページ（<http://www.oka-pu.ac.jp/>）をご覧ください。

○お問い合わせ先

岡山県立大学 事務局教務課

TEL：0866-94-9161(直通) FAX：0866-94-2196